

---

第31回  
日本家族社会学会大会  
プログラム

---

2021年9月4日（土）・5日（日）

オンライン開催

# 大会日程

## オンライン開催

### ▼第1日 2021年9月4日(土)

9:00～ 11:30	テーマセッション(1) NFRJ18 からみる現代日本家族の構造と動態 —家族形成の困難をめぐって— 自由報告(1) ① コロナ禍と家族 ② 多様な家族・家族実践
11:35～ 12:00	会長講演
12:00～ 12:50	総会
12:50～ 13:00	第2回奨励著書賞授賞式
13:30～ 15:30	自由報告(2) ③ 中国の親子関係 ④ 家族とケア ⑤ 女性と家族生活
15:45～ 17:45	自由報告(3) ⑥ 出生・少子化 ⑦ 身体・性・健康 テーマセッション(2) 開催校企画 育児ネットワークの構造を地域からとらえなおす —九州の徳之島と福岡市の比較から—

### ▼第2日 2021年9月5日(日)

10:00～ 12:30	テーマセッション(3) 全国家族調査 18 質的調査にもとづく成果報告 自由報告(4) ⑧ 仕事・労働 ⑨ 結婚・非婚
13:00～ 16:00	公開シンポジウム:「パブリック／プライベート」空間の重なりと家族・ワークライフ バランス—「職住分離の不明瞭化」の影響を考えるために—

※ 今大会はオンラインで開催します。そのため、懇親会は開催しません。

# 大会プログラム

第1日目 9月4日(土)

午前の部

9:00~11:30

## テーマセッション(1)

NFRJ18 からみる現代日本家族の構造と動態—家族形成の困難をめぐって—

オーガナイザー・司会 田淵六郎(上智大学)

オーガナイザー 田中慶子(慶應義塾大学)

- |  |                      |
|--|----------------------|
| (1)-1 婚姻上の地位とディストレス                                    | 大日義晴(西武文理大学)         |
| (1)-2 夫婦の勢力関係および夫婦関係満足度の規定要因<br>—夫婦の社会経済的地位のバランスに注目して— | 永瀬 圭(神戸学院大学)         |
| (1)-3 介護役割意識の回答パターンと関連要因—潜在クラス<br>分析による検討—             | 中西泰子(相模女子大学)         |
| (1)-4 中年未婚者の社会関係とメンタルヘルス—NFRJ を用いた<br>趨勢分析—            | 斉藤知洋(国立社会保障・人口問題研究所) |

## 自由報告(1)

### ①コロナ禍と家族

司会 米村千代(千葉大学), 筒井淳也(立命館大学)

- |   |   |
|---|---|
| ①-1 コロナ禍での生活変化に関する認識のジェンダー差に関<br>する—考察                                      | 白波瀬佐和子(東京大学)                                      |
| ①-2 リモート面会の社会学—家族はなぜ会いに行き続けるの<br>か、何が問題となるのか?                               | 木下 衆(慶應義塾大学)                                      |
| ①-3 リモートワークは男女の世帯内の分業にどのような影響<br>与えたのか—2019年と緊急事態宣言発令下(2020年<br>4月・5月)との比較— | 柳田愛美(東京都立大学・院)<br>柳下 実(東京都立大学・院)<br>不破麻紀子(東京都立大学) |
| ①-4 ポストコロナ時代における未就学児を持つ母親のワーク・<br>ライフ・バランスの変化—山梨在住母親のインタビュー<br>調査結果から       | 劉 楠(山梨英和大学)                                       |
| ①-5 新型コロナウイルスの感染拡大と子育て世帯の就業変化   | 松田茂樹(中京大学)  |

### ②多様な家族・家族実践

司会 釜野さおり(国立社会保障・人口問題研究所), 藤間公太(国立社会保障・人口問題研究所)

- |  |   |
|--|---|
| ②-1 性的少数者と家族の調査研究についての考察—経済的困難<br>の角度から              | 志田哲之(早稲田大学)                                     |
| ②-2 親子と血縁—人びとの血縁意識とは                                 | 久保原 大(東京都立大学)                                   |
| ②-3 明治～戦前期における養子慣行の観察—日本帝国人口動態<br>統計と新聞記事を中心に—       | 大沼洋文(麗澤大学・院)                                    |
| ②-4 施設養護の実践における〈家族〉と〈子ども〉をめぐる概念<br>—社会的養護施設での質的調査から— | 野崎祐人(京都大学・院)<br>三品拓人(日本学術振興会)<br>平安名萌恵(立命館大学・院) |
| ②-5 再婚信念と婚姻満足度、ステップファミリーに関する困難さと<br>の関連              | 直原康光(富山大学)<br>野沢慎司(明治学院大学)                      |

**会長講演**

11:35~12:00

研究者と学会活動：戦前の戸田貞三らの活動をめぐって

池岡義孝会長

**総会**

12:00~12:50

**第2回奨励著書賞授賞式**

12:50~13:00

**午後の部1**

13:30~15:30

**自由報告(2)****③中国の親子関係****司会 後藤澄江(日本福祉大学), 宮坂靖子(金城学院大学)**

- ③-1 中国一人っ子世代の親子・親族関係①—一人っ子世代の出産意欲・行動及びその規定要因— 施 利平(明治大学)
- ③-2 中国一人っ子世代の親子・親族関係②—地方都市出身の女性の就職と、就職における親との関係性— 陳 予茜(明治大学・院)
- ③-3 移民家庭の育児をめぐるトランスナショナルな世代間関係の構築—中国人高学歴ホワイトカラー職家庭の場合— 賽漠卓娜(長崎大学)
- ③-4 中国における地方都市に在住する中年世代の老親扶養問題—成功者規範の発生— 李 姝(中央大学・院)

**④家族とケア****司会 藤崎宏子, 西野勇人(東日本国際大学)**

- ④-1 知的障害者家族におけるケア—きょうだいへの生活史調査から— 藤井 梓(立命館大学・院)
- ④-2 産後ドゥーラによる居宅訪問型家事・育児支援労働を支える「非現場ワーク」—認知的なケア労働に着目して— 柳田ゆう花(東京大学・院)
- ④-3 ダブルケアをする親を持つ子どもたち—受動的な存在から能動的な存在へと変わりゆく過程— 戸井田晴美(一橋大学・院/日本学術振興会)
- ④-4 介護負担感に関連する仕事と介護のコンフリクト要因の解明 涌井智子(東京都健康長寿医療センター研究所/筑波大学ヘルスサービス開発研究センター)

**⑤女性と家族生活****司会 永井暁子(日本女子大学), 田中重人(東北大学)**

- ⑤-1 女性の就業と就学前教育への投資：JGSSによる2000年以降の持続と変化に関する分析 佐野和子(大阪商業大学JGSS研究センター)
- ⑤-2 日本女性の世代間援助における長期的互酬性—「消費生活に関するパネル調査」データの分析から— 韓 仁熙(東京大学・院)
- ⑤-3 女性の家計管理、資産運用とジェンダー意識 佐野潤子(慶應義塾大学経済研究所ファイナンシャル・ジェロントロジー研究センター)
- ⑤-4 夫の家事・育児が妻の幸福度に及ぼす影響—福井県女性の調査から— 石井クンツ昌子(お茶の水女子大学)  
斎藤悦子(お茶の水女子大学)  
相川頌子(お茶の水女子大学)  
山本咲子(お茶の水女子大学)

自由報告 (3)

⑥出生・少子化

司会 岩井八郎, 水落正明 (南山大学)

- ⑥-1 結婚・出生・就業の組合せでみた女性のライフコースの変化：  
就業経歴と出生子ども数に着目して 守泉理恵 (国立社会保障・人口問題研究所)  
中村真理子 (国立社会保障・人口問題研究所)
- ⑥-2 非婚女性の妊娠の結果と職業の関係の年次変化—1995年度～  
2015年度の人口動態職業・産業別統計による— 仙田幸子 (東北学院大学)
- ⑥-3 シンガポール社会の晩婚化・未婚化・少子化に対する親学歴の  
影響について—「トーナメント競争マインドセット」は世代  
を超えて継承される— SIM CHOON KIAT (昭和女子大学)
- ⑥-4 置換水準以下の低出生率と晩婚・晩産化の効果 原 俊彦 (札幌市立大学)

⑦身体・性・健康

司会 山田昌弘 (中央大学), 佐藤宏子 (和洋女子大学)

- ⑦-1 性愛と民主主義—1945~60年代前半における夫婦関係の表象— 本多真隆 (明星大学)
- ⑦-2 新自主主義とジェンダー—ジュディス・バトラーの“vulnerability”  
と“precarity”から— 開内文乃 (青山学院大学)
- ⑦-3 高校生の料理・食事における他者に対する思考・関心—家族と  
の社会的相互作用に着目して— 黒岩 薫 (お茶の水女子大学・院)
- ⑦-4 大学生の初交タイミングと健康、スピリチュアリティ、宗教 小島 宏 (早稲田大学)

テーマセッション (2) 開催校企画

育児ネットワークの構造を地域からとらえなおす—九州の徳之島と福岡市の比較から—

オーガナイザー・司会 山下亜紀子 (九州大学)

- (2)-1 家族の地域性と育児支援 山下亜紀子 (九州大学)
- (2)-2 徳之島伊仙町における育児支援の構造 吉武由彩 (熊本大学)
- (2)-3 地域的多様性と育児—福岡市と徳之島を事例として— 益田 仁 (中村学園大学)

テーマセッション(3)

全国家族調査18 質的調査にもとづく成果報告

オーガナイザー 木戸 功(聖心女子大学)

司会 松木洋人(大阪市立大学)

討論者 平山亮(大阪市立大学)

- |  |              |
|--|--------------|
| (3)-1 NFRJ18 質的調査の進捗について                                 | 木戸 功(聖心女子大学) |
| (3)-2 離婚および離婚後の生活の語られ方                                   | 安藤 藍(千葉大学)   |
| (3)-3 成人期のきょうだい関係と家族—全国家族調査18 質的調査データによるアンビバレンス概念を用いた分析— | 吉原千賀(高千穂大学)  |
| (3)-4 子育て主婦とキャリアの見通し                                     | 里村和歌子(九州大学)  |
| (3)-5 社会問題としての男性の家事参加                                    | 須長史生(昭和大学)   |

自由報告(4)

⑧仕事・労働 司会 乾 順子(大阪府立大学), 村上あかね(桃山学院大学)

- |   |  |
|---|--|
| ⑧-1 OECD 諸国の人口動態・年齢構造・労働力率—第2次世界大戦後の時期別変化                         | 落合恵美子(京都大学)  |
| ⑧-2 世代分業・多元的子育て・母親就業—長期の20世紀における変化・連続性・地域性—                       | 加藤彰彦(明治大学)   |
| ⑧-3 育児役割の有無が女性の仕事へのモチベーションや昇進意欲に与える影響—日本の大企業に勤める女性管理職を対象とした調査から—  | 岡村利恵(お茶の水女子大学)   |
| ⑧-4 非正規シングル女性の社会保障リテラシーと生活展望の考察「2020年大阪・福岡・札幌非正規シングル女性調査」結果分析をもとに | 服部良子(大阪市立男女共同参画センター中央館)<br>森 詩恵(大阪経済大学)<br>岸上真巳(大阪市男女いきいき財団) |
| ⑧-5 仕事をもつ祖母のジェネラティビティの語りから—子育て支援を考える                              | 加藤邦子(浦和大学)   |

⑨結婚・非婚 司会 岩澤美帆(国立社会保障・人口問題研究所), 林 雄亮(武蔵大学)

- |   |                   |
|---|-------------------|
| ⑨-1 学歴同類婚に対する高等教育の水平的階層性の役割:大卒内の異質性と同類婚減少トレンドへの示唆           | 打越文弥(プリンストン大学・院)  |
| ⑨-2 結婚意思のない未婚女性の生活満足度規定要因を探る—働く未婚者の生活満足度に関する総合的な検討—         | 小河映育花(お茶の水女子大学・院) |
| ⑨-3 韓国女性の非婚志向における特徴—30歳代女性のインタビューから—                        | 柳 采延(東京大学)        |
| ⑨-4 内モンゴル東部農村地域におけるモンゴル人男性の結婚相手選択意識の変容—未婚男性のライフストーリーの分析を通して | WU YINGGA(中央大学・院) |

公開シンポジウム

「パブリック／プライベート」空間の重なりと家族・ワークライフバランス―「職住分離の不明瞭化」の影響を考えるために」

企画 安藤 究(名古屋市立大学)

在宅勤務とワークライフバランス―変化と課題

高見具広 (労働政策研究・研修機構)

小規模家族経営における女性の働きかたと家族生活を振り返る

宮下さおり (名古屋市立大学)

家族は共に時間を過ごしているか：公的／私的領域の意味論

品田知美 (早稲田大学)

討論者

高橋美恵子 (大阪大学)

筒井淳也 (立命館大学)

## 連絡事項

### 大会参加登録(事前登録が必要です)

大会参加を希望される会員は、**事前に参加登録と参加費の納付が必要です**。今大会はオンライン開催のため、事前参加登録のみで当日参加登録はありませんので、ご注意ください。

日本家族社会学会第31回大会ホームページから登録してください。ログイン名とパスワードが必要です。ログイン名は、学会からの送付物のタックシールに記載されている番号(数字8桁;上4桁は数字の0、下4桁は会員名簿に記載されている数字)です。パスワードが不明な場合は、「会員専用ページ」から問い合わせてください。

**大会参加費 一般会員：2,500円**

**学生・会費減額申請が承認された会員：無料**

\*参加登録は必要です。

**非会員の場合：一般・学生とも一律 3,000円**

\*郵便振替の場合の振込み手数料は本人負担となります(上記は手数料抜きの値段)。

#### ● 一般会員の方

大会参加費は2,500円です。大会参加の事前登録と参加費の納付期限は、次のとおりです。

	参加登録期限	参加費納付期限
① Webによる参加登録 +郵便振替による納付	8月23日(月) 14時まで	8月23日(月) 14時まで
② Webによる参加登録 +カード支払い	8月30日(月) 14時まで	8月30日(月) 14時まで

#### 郵便振替の場合：

大会費用の郵便振替口座は、Webより参加登録完了後、登録メールアドレス宛に自動配信される受付通知メールに記載されます。第28回大会より、会員への郵便振替票の郵送は廃止しましたので、郵便局に備え付けの払込取扱票を利用して、振り込んでください(他銀行から郵便振替口座へのお振込みも可能です)。

受付通知メールが不達の場合には、早めにヘルプデスク<[jsfs-desk@bunken.co.jp](mailto:jsfs-desk@bunken.co.jp)>までメールで問い合わせてください。

#### カードの場合：

Web上で参加登録される際に、「決済方法」を「クレジット」にチェックすると、参加登録と事前納付が同時に完了となります。

※領収書は、後日、PDFファイルをメール送付します。

※いずれの場合も、期限を厳守してください。期限を過ぎた参加費等の納付では、オンライン大会に参加できませんのでご注意ください。また、いかなる理由でも、参加費は払い戻しません。

#### ● 学生会員・減額会員の方

参加費は無料です。ただし、**事前参加登録が必要(締切は8月30日(月)14時)です**。

なお、常勤職にないなどの理由による会費減額申請の受付は2021年5月31日に終了しています。現段階で承認を受けている方のみが学生会員と同じ適用となります。



※Webからの事前参加登録時に、システムの仕様上、無料でも決済方法の「郵便振替」か「クレジット決済」のいずれかをご選択いただく必要がございますが、実際には決済ご不要ですので、「クレジット決済」を選択の場合にもカード情報の記入ご不要で参加登録が完了となります。

#### ● 非会員の方

非会員の方は、Web上の申し込みはできません。大会ホームページより、非会員専用の参加申込申請フォーム（Excel形式）に必要事項を記入の上、ヘルプデスク<[jsfs-desk@bunken.co.jp](mailto:jsfs-desk@bunken.co.jp)>までメール添付で提出してください（大会ヘルプデスクへの提出期間：7月2日（金）～8月23日（月）14時）。ヘルプデスクより参加費納入先をご案内いたします。非会員の方の参加費は、一般・学生ともに一律3,000円です。

### 大会参加方法

#### 1. web 会議サービス「Zoom」を利用して実施します。

Zoom <https://zoom.us/>

パソコンやスマートフォンにアプリをインストールすることで使用が可能です。インストールの方法や基本的な使い方は、各人にて情報収集の上、ご対応をお願いいたします。

（参考）

澁川幸加氏（京都大学大学院）が、日本教育工学会や情報処理学会の情報をもとに作成・公開した「オンライン学会向け Zoom マニュアル」が参考情報として有益です。

<https://redbuller.hatenablog.com/entry/2020/03/28/022605>

に掲載されている「Zoom マニュアル\_配布用」からマニュアルがダウンロードできます。

※なお、Zoom社より、2020年5月30日以降はZoomのバージョンが5.0以上に更新されていない場合には、セキュリティの都合上、ミーティングに参加することができない旨の通知が出されています。以前にインストールをされてから、しばらく使用していないという方は、バージョンを事前にご確認の上、アップデートをお願いいたします。

#### 2. 「Zoom」ミーティング URL などは、参加登録者に別途お知らせします。

参加時に必要なミーティング ID、パスワードは、学会事務局から別途お知らせします。

お知らせは、9月1日（水）に登録のメールアドレスへ発信する予定です。

#### 3. 報告要旨集は、例年どおり大会 HP 上で公開します。

前回大会より、報告要旨集の冊子版を廃止し、電子版の Web 要旨集のみとなっています。

Web 要旨集は、大会 HP 上で8月25日（水）公開予定です。

#### 4. 報告資料のダウンロード方法は、参加登録者に別途お知らせします。

報告資料は、参加者にダウンロードしていただきます。詳細については、別途お知らせします。

[付記] 本資料は、2020年6月の第61回環境社会学会大会運営のために、同学会研究活動委員会により作成された「オンラインによる自由報告の開催にあたって」を参考にさせていただきました。記して御礼申し上げます。